

つながりあって

幸せに生きる



NPOコウノトリ豊岡・いのちのネットワーク
ドーナツの会事務局長

とだ かずよ
戸田和代さん

小学校校長を退職後、不登校の児童・生徒のその後を調査。多くがひきこもり状態にあると判明し2011年に相談窓口「ドーナツの会」を有志と設立。だれもが大切にされ、その人らしく自分の力が発揮できる寛容な社会づくりを目指す。

誰が来てもいい場所として、
このことも食堂を月2回開いて

野菜、魚等をいただき、この夏には1日80人のお客さんを迎えた日もありました。家族や仲間と食卓を囲むことは、孤立を防ぐことにつながると感じています。食は大きな力です。

私が不登校やひきこもりのことを考えるようになった原点は、40年前、伊丹の小学校で担任した1年生の女の子です。私はその時初めて、学校に行きづらい子どもに出会いました。毎朝車で迎えに行き、話を聴きました。しかし、1年経った頃、但馬に異動することになりました。お別れ会の時「先生、私を放って行かないで」と、泣きじゃくったその子の姿が心に深く残り、私は「しんどい子を決して取り逃がしてはいけない」と強く思うようになりました。彼女とは今でも連絡を取り合っています。時折私を立ち止まらせ、考えさせてくれる存在です。

人は誰でもストレスや悩みを持っていきます。そのしんどさを一人で抱え込まないでください。あなたのお話を聴かせていただ

Toyooka Topics —とよおかの“旬”な話題—

日高消防団が消防操法大会を5年ぶりに実施



9月3日、名色第6駐車場で第27回日高消防団消防操法大会が開催されました。これまで隔年で開催していましたが、コロナ禍の影響で延期が続き、5年ぶりの大会開催となりました。

小型ポンプの部には12チーム、自動車ポンプの部には7チームが出場し、ホースをつなぎ合わせて放水し、的を倒すまでのタイムや動きの速さ、操作の安全性を競いました。出場した選手は、約2カ月間にわたる練習の成果を大いに発揮していました。

兵庫北斗クラブが全日本バレーボール小学生大会で準優勝



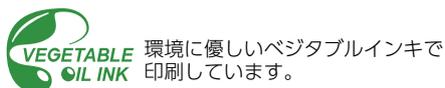
8月7～10日に東京体育館等で開催された第43回全日本バレーボール小学生大会の混合の部において、「兵庫北斗クラブ」が準優勝という快挙を達成しました。9月1日には同クラブのメンバーが市長を表敬訪問しました。キャプテンで6年生の衣川阿凛（きぬがわありん）さんは「試合中は勝つことしか考えなかった。今後は秋の県大会・近畿大会に向けて練習を頑張りたい」とすでに気持ちは次の大会に向けていました。



各施設・事業のSNS



※広報とよおかは豊岡市公式ホームページやスマホアプリのマチイロでも読むことができます。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

